

ひまわりクリニックきょうごく

ひまわり便り 第4号

今月のひまわり便りは、卒後臨床研修医についてご紹介いたします。

クリニックでは、北海道大学の卒後臨床研修プログラムのコースの一つとして、初期臨床研修医（医師 2 年目）の先生を受け入れしています。平成 25 年は 8 名、平成 26 年には 1 名の研修医の先生が約 1 ヶ月間ひまわりクリニックで研修されました。時には外来診察や病棟でお会いになった方もいるかと思います。

今年は、6 月 1 日から 6 月 26 日まで「千葉 雅尋先生」が研修を行いました。ひまわりクリニックでの研修を終えての感想をいただきましたのでご紹介させていただきます。



北海道大学研修医

ちば まさひろ
千葉 雅尋先生



なぜ、ひまわりクリニックでの研修を選択したのですか？

前沢先生の講義を学生時代に聴講し、先生が京極町で行っている医療に興味があり、大学 6 年生の時に 1 週間実習にお邪魔しました。今回再度研修でお邪魔したのは、前回の実習では学び足りなかったこともあったからです。また、羊蹄山の景色の良さとクリニックのご飯が美味しかったのを記憶しており、再度味わいたかったというのもあります。



ひまわりクリニックでは具体的にどのような事を経験されましたか？

医師としての診察以外に、採血や血管確保などの手技を積極的にさせていただきました。最新鋭のエコーでの検査も行わせていただきました。クリニックでは内科疾患以外に、整形外科や皮膚疾患などの患者様も多く、それらの診療技術についても勉強させていただくことができました。



ひまわりクリニックの良さがあるとしたらどこでしょうか？

また、より良くするためのアドバイスがあればお願いします！

他職員と接する機会が多く、気兼ねなく色々なことを聞けたり、頼むことができる環境が良かったです。

生活習慣病のコントロールをもっとできるとよいと思いました。そのための禁煙外来は良い試みだと思います。また、食事指導と一緒に理学療法士からの運動療法を取り入れ、生活習慣病を改善する手助けをして頂きたいと思いました。



将来はどのような医療に携わりたいとお考えですか？

血液内科医を志望しています。その中でも特に造血幹細胞移植という分野に携わっていきたいです。この初期研修期間に、地域医療を学べたことは非常に貴重な経験でした。